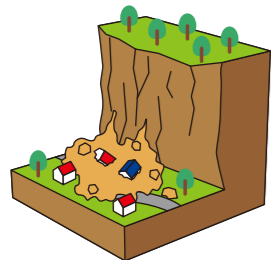


土砂災害から身を守りましょう

土砂災害の種類と前兆現象

近年、局所的に降る大雨により、全国的に土砂災害が多発しています。局所的に降る大雨は事前の予測が難しく、一瞬にして被害が発生してしまいます。土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、前兆現象などに十分注意し、早めに避難してください。京丹波町内の土砂災害警戒区域等については、本防災マップP10以降の地図面に掲載しています。

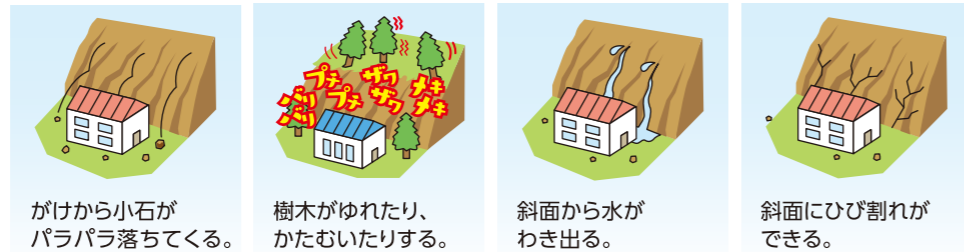
がけ崩れ



急な斜面が崩れる

地中にしみ込んだ雨水で柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちる現象。一瞬のうちに崩れ落ちるので、逃げ遅れなどで被害が大きくなります。

がけ崩れの前ぶれ



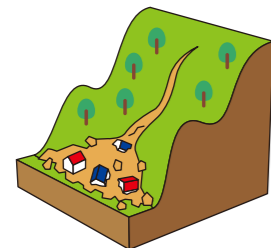
がけから小石がパラパラ落ちてくる。

樹木がゆれたり、かたむいたりする。

斜面から水がわき出る。

斜面にひび割れができる。

土石流



山から崩れた土や石が水と一緒になって、ものすごい勢いで流れ下ってくる

谷や斜面に溜まった土・石・砂などが、大雨による水とともに一気に流れ出す現象。スピードが速く、破壊力も大きいため、広範囲に大きな被害が出ます。

土石流の前ぶれ



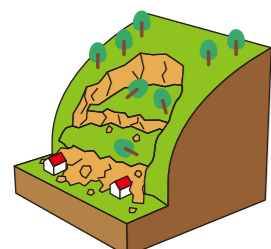
川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、火花が見えたりする。
上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり合いながら流れてくるため。

川や沢の流れがにごり、流木が混じり始める。
上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。

地鳴りや山鳴り、異常なおいがする。
上流で山が崩れているため。

雨がふり続けているのに川や沢の水が減る。
上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められているため。土石流の危険がせまっている。

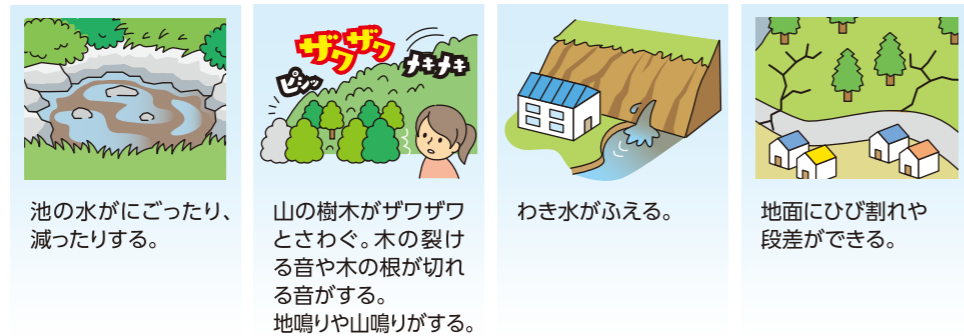
地すべり



やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く

比較的緩やかな斜面で地中の粘土層がゆっくりと動き出す現象。一度に広範囲で発生するので、住宅や道路などに大きな被害が出ます。

地すべりの前ぶれ



池の水がにごったり、減ったりする。

山の樹木がザワザワとさわぐ。木の裂ける音や木の根が切れる音がする。地鳴りや山鳴りがする。

わき水がふえる。

地面にひび割れや段差ができる。

区域の指定

京都府が基礎調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域等を指定します。

警戒 土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊

- 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- 急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
- 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍(50mを超える場合は50m)以内の区域

土石流

- 土石流の発生のおそれのある渓流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域

地すべり

- 地すべり区域(地すべりしている区域または地すべりするおそれのある区域)
- 地すべり区域下端から、地すべり地塊の長さに相当する距離(250mを超える場合は、250m)の範囲内の区域

特別警戒 土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に、建築物の損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域。(岩石や土砂の移動等により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が岩石や土砂等の移動に対して住民の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれのある損壊を生ずることなく耐えることのできる力の大きさを上回る区域。)

※ただし、地すべりに係る土石等の移動等により建築物に作用する力の大きさについては、作用した時から30分間が経過した時において作用するものとされています。また、地すべりに係る特別警戒で指定することとされています。区域は地すべり区域の下端から60mの範囲内。

土砂災害の予防策

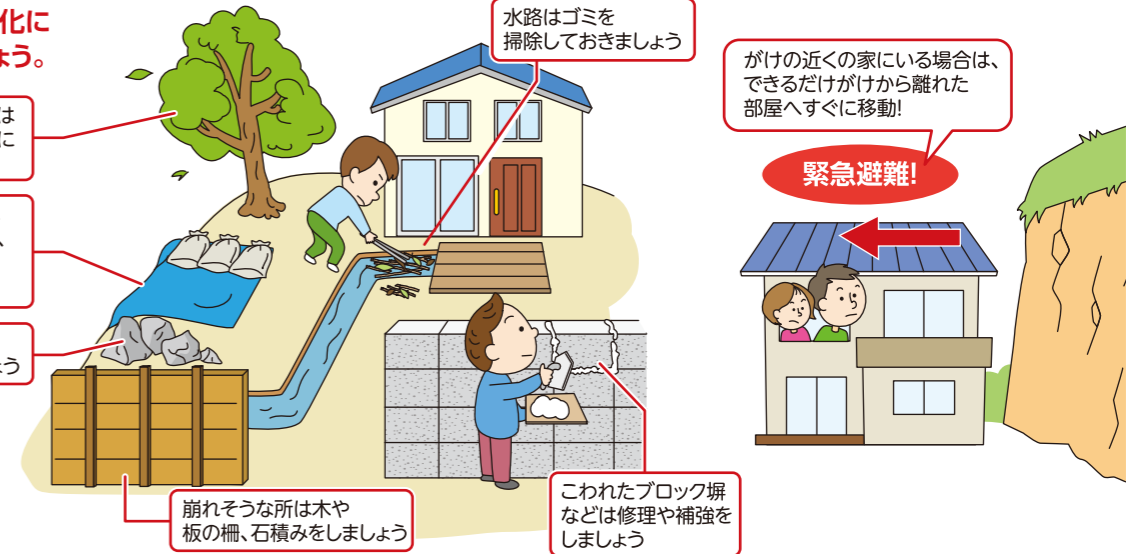
- ◎日ごろから避難する場所や道路などを確認しておきましょう。
- ◎家の近くにがけのある方は、がけの周辺を見回り、次のようなことを心がけましょう。

斜面の状態の変化に十分注意しましょう。

風でゆれる大きな木はがけ崩れを防ぐために枝を切りましょう

がけの危険な部分はビニールなどで覆い、雨水の浸みこみを防ぎましょう

落ちそうな岩や土のかたまりは除きましょう



崩れそうな所は木や板の柵、石積みをしなす

こわれたブロック塀などは修理や補強をす

がけの近くの家にいる場合は、できるだけがけから離れた部屋へすぐに移動!

緊急避難!

家庭での災害対策(備蓄・水防対策)

ローリングストック法

定期的(1ヶ月に1~2度)備蓄品を食べて、食べた分を買い足し備蓄していく方法。食べながら備えるため、消費期限が短いレトルト食品等も非常食として扱えます。



家庭でできる水防対策

浸水のおそれがある場合に、ゴミ袋等を使い簡易的な応急対応をすることができます。

